



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	情報化時代における旅行コミュニケーション：つながらないはずの人々のつながりの創出
Author(s)	岡本, 健
Relation	文部科学省平成20年度組織的な大学院教育推進プログラム「社会の幸福に資するソーシャルリサーチ教育ーソシオリテラシーの涵養ー」共同研究プログラム「東アジアのストリートの現在」第8回研究会「アニメ聖地となる<ストリート>」。平成22年1月24日, TKP大阪梅田ビジネスセンター、大阪府大阪市。
Issue Date	2010-01-24
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/42588
Type	conference presentation
File Information	okamoto_CPEAS8.pdf, プレゼンテーション資料



情報化時代における旅行コミュニケーション

～つながらないはずの人々のつながりの創出～

2010年1月24日
関西学院大学社会学GP
「東アジアのストリートの現在」
第8回研究会「アニメ聖地となる<ストリート>」
於：TKP大阪梅田ビジネスセンター

北海道大学大学院
国際広報メディア・観光学院
観光創造専攻 博士後期課程
岡本健

1. 社会の情報化と旅行者の情報化

2. 情報社会における旅行行動研究

3. アニメ聖地巡礼の概要

4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿
～発案から実施まで～

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

6. 情報化時代の旅行コミュニケーション
～つながるはずのなかったひとびとのつながり～

1. 社会の情報化と旅行者の情報化

現在は、社会が情報化していると言われている。

1960年代～1970年代

様々な情報化社会が語られ始める→政策立案

1980年代

様々な政策、ニューメディア、世帯単位個人単位でメディアが普及

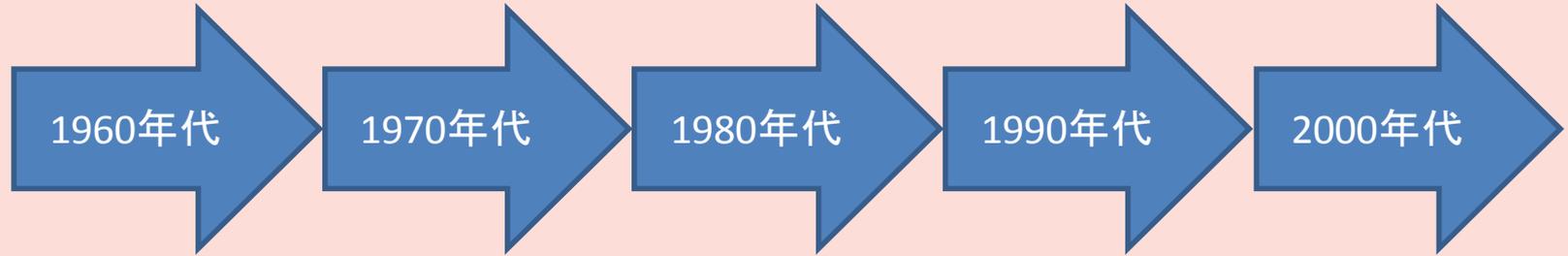
1990年代

GUIの装備でPCが普及。ポケベル。携帯電話。

2000年代

ブロードバンド、HP・ブログ・SNS、個人の情報発信とネットワーク

1. 社会の情報化と旅行者の情報化



観光情報化	<ul style="list-style-type: none"> ・主に旅行会社を利用 		<ul style="list-style-type: none"> ・ニューメディアを利用した一極集中型大規模観光情報システムを志向 ・情報管理の方向 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・友人の話、ガイドブック、パンフレットが中心 ・旅行情報を得る際のインターネット利用者が登場 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化・個人化 ・インターネット利用者が急増
情報化	<ul style="list-style-type: none"> ・文明論的信息社会論 ・テレビの普及が進む 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主導の情報化政策立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・政官主導の地域情報化の推進 ・日本におけるインターネットの開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア ・パーソナルメディア 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSやブログなど個人が簡単に情報の送受信がおこなえるようになる。
ツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・マスツーリズムの隆盛 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスツーリズムの被害が顕在化 	<ul style="list-style-type: none"> ・オルタナティブツーリズムが提案され始める ・持続可能な観光開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ・ツーリズムやヘリテージ・ツーリズムなどのニューツーリズム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューツーリズムへの期待 ・次世代型ツーリズム

1. 社会の情報化と旅行者の情報化

では、旅行行動では、情報化はどのように進展しているのか

1990年代

と

2000年代

旅行の情報源として利用するメディアの比較

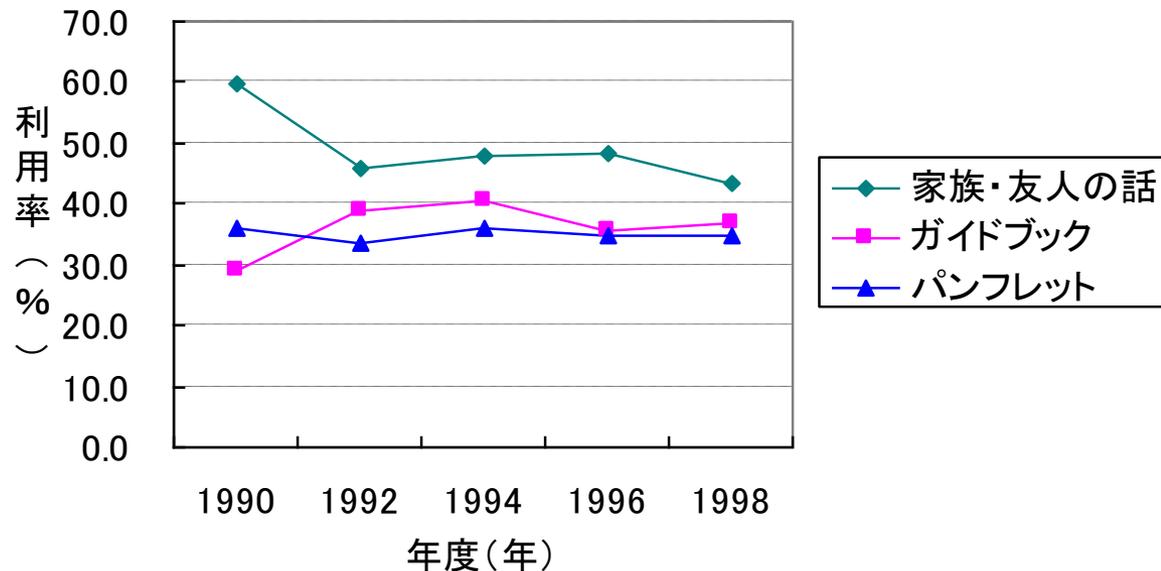
1. 社会の情報化と旅行者の情報化

	1990	1992	1994	1996	1998
家族・友人の話	59.7	45.7	47.8	48.1	43.3
ガイドブック	28.9	38.8	40.6	35.8	36.9
パンフレット	36.2	33.4	36.0	35.0	34.7

1990年代における旅行の際に参考にする情報源
(平成19年度版「観光の実態と志向」のp. 72
を元に筆者作成)

1990年代

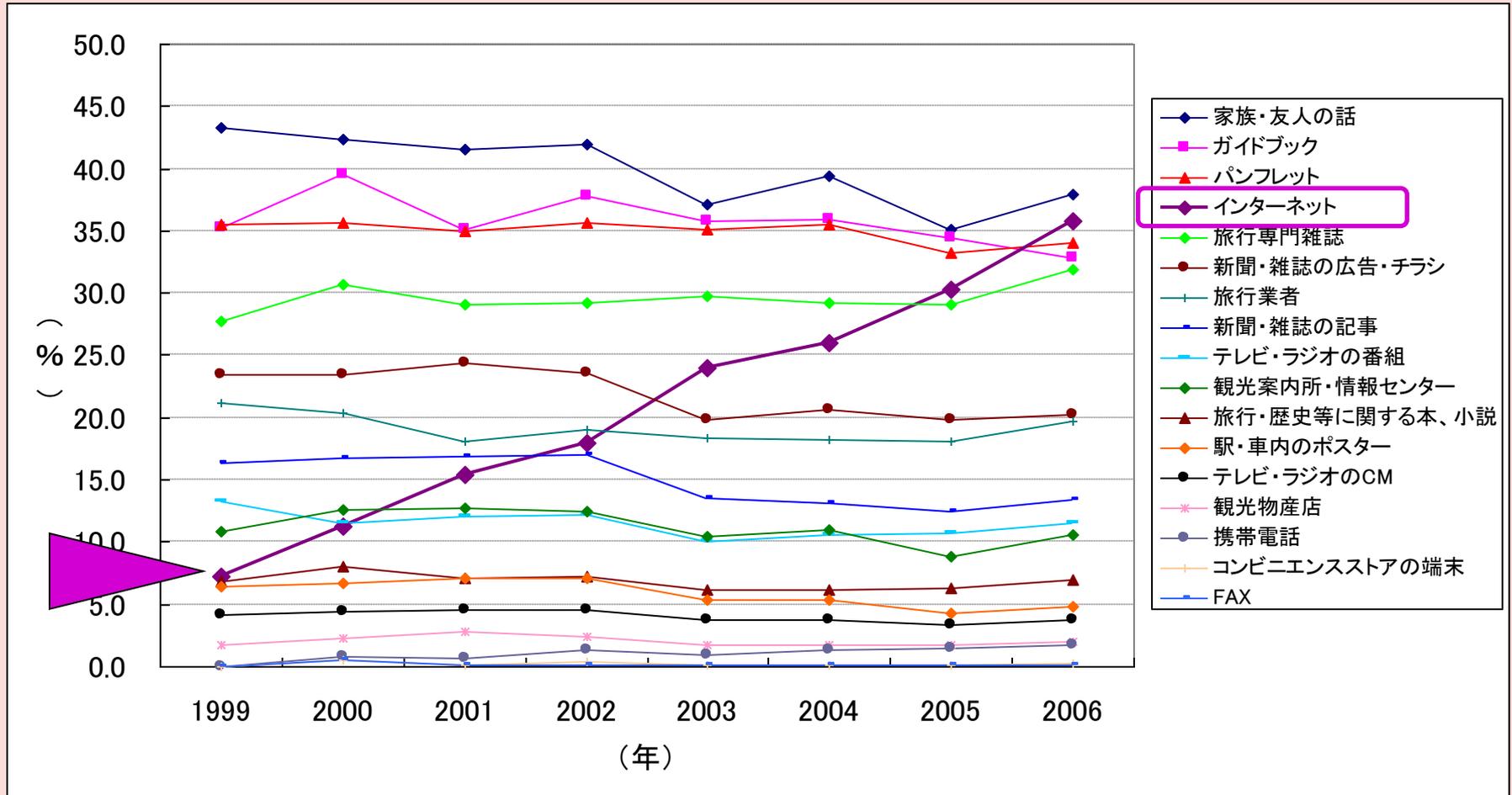
1990年代における旅行に出かける際に参考にする情報源のグラフ



1. 社会の情報化と旅行者の情報化

各種旅行情報の利用率の推移

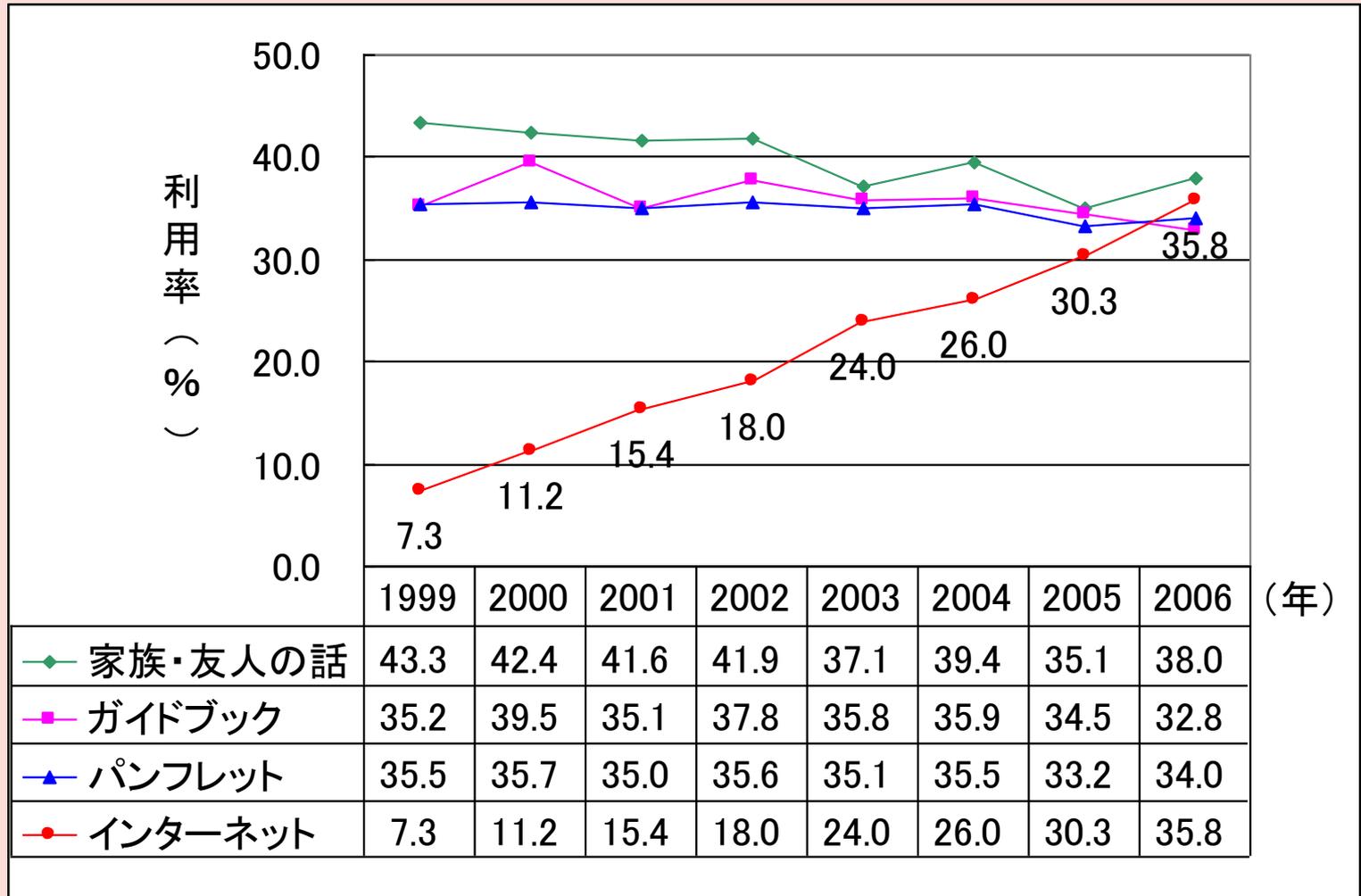
2000年代



1. 社会の情報化と旅行者の情報化

2000年代

1990年代に中心的なメディアであった「家族・友人の話」「ガイドブック」「パンフレット」と「インターネット」を比較



旅行に行く際に参考にする情報源の利用率の推移

(平成19年度版 「観光の実態と志向」 p. 72を元に筆者作成)

1. 社会の情報化と旅行者の情報化

全体的に旅行の情報源として「インターネット」利用率は高まっている。

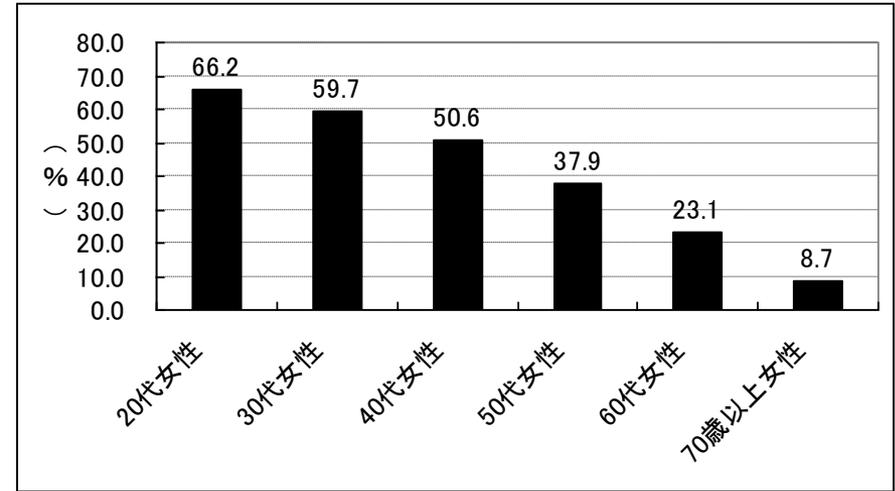
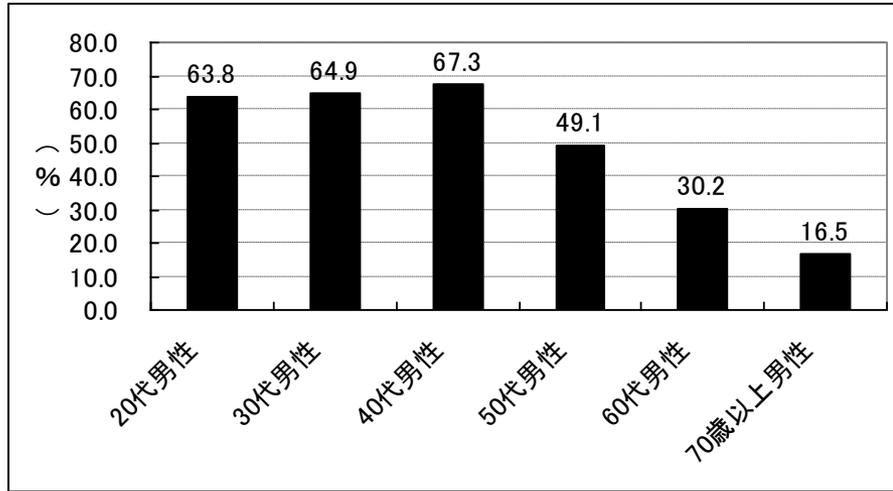
ただし

インターネットの利用に関しては、世代や性別で差があることがわかっている。

インターネットの利用の仕方についても様々であり、既存メディアと似たような使用方法もある。

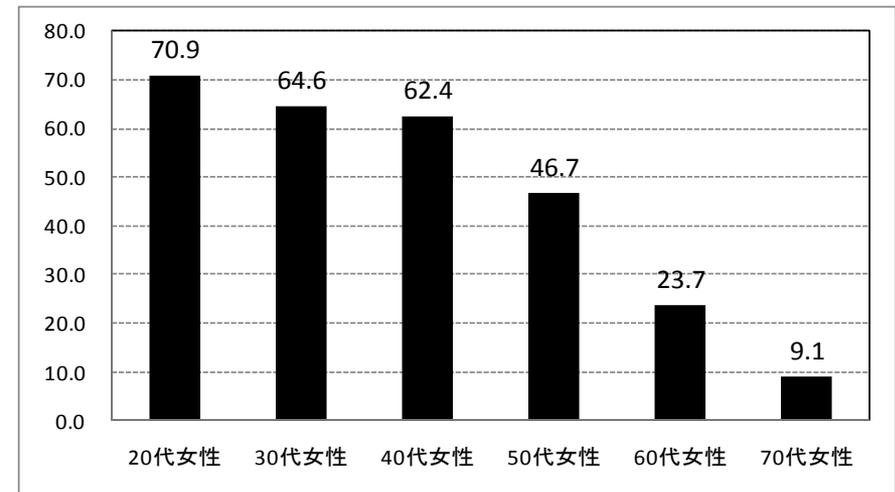
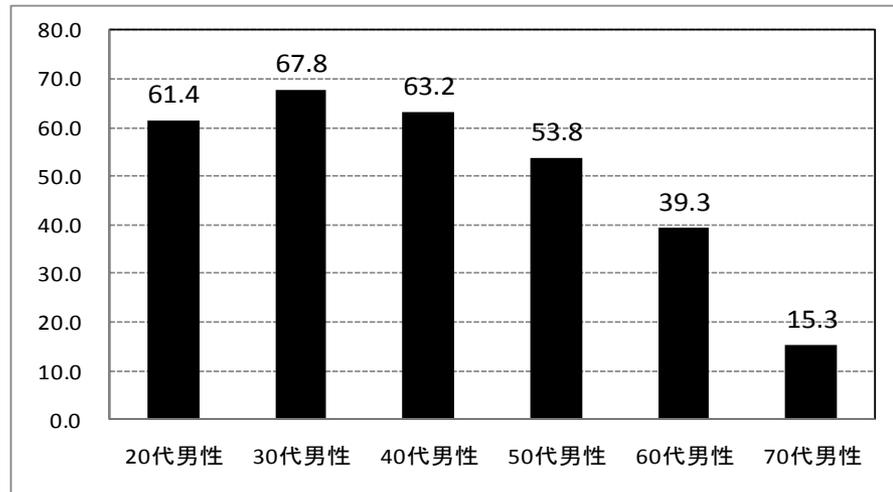
「インターネットの検索サイト」の利用率を世代、性別ごとに見てみる。

2. 情報社会における旅行行動研究



2007年時点で「ネットの検索サイト」を情報源として利用している割合（左：男性 右：女性）

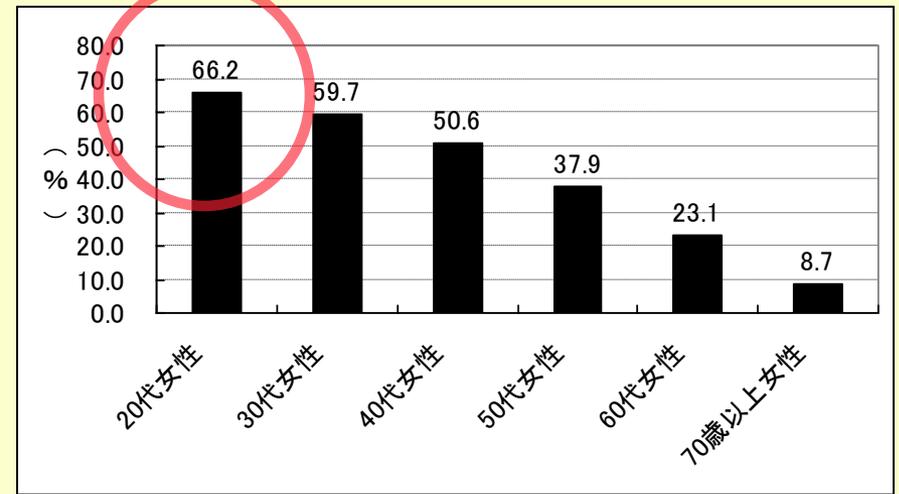
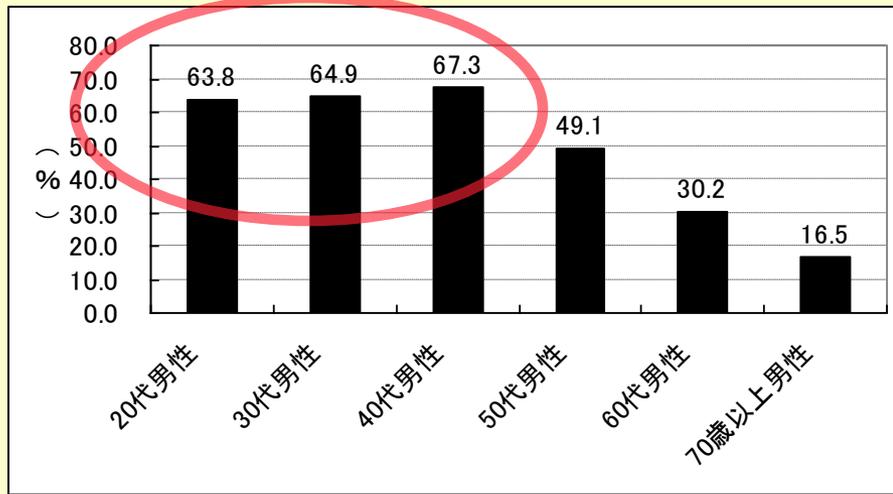
財団法人日本交通公社「旅行者動向2008 国内・海外旅行者の意識と調査」pp. 100-101を元に筆者作成（データは2007年のもの）



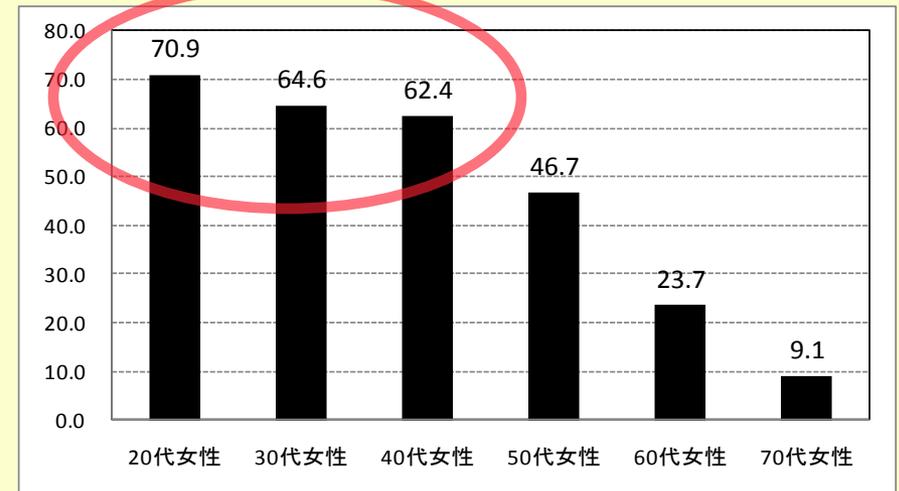
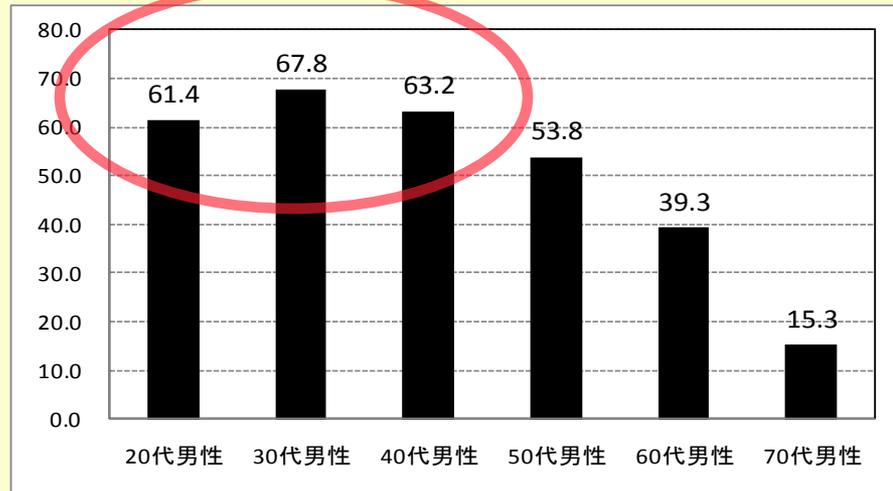
2008年時点で「ネットの検索サイト」を情報源として利用している割合（左：男性 右：女性）

財団法人日本交通公社「旅行者動向2009 国内・海外旅行者の意識と調査」pp. 100-101を元に筆者作成（データは2008年のもの）

2. 情報社会における旅行行動研究

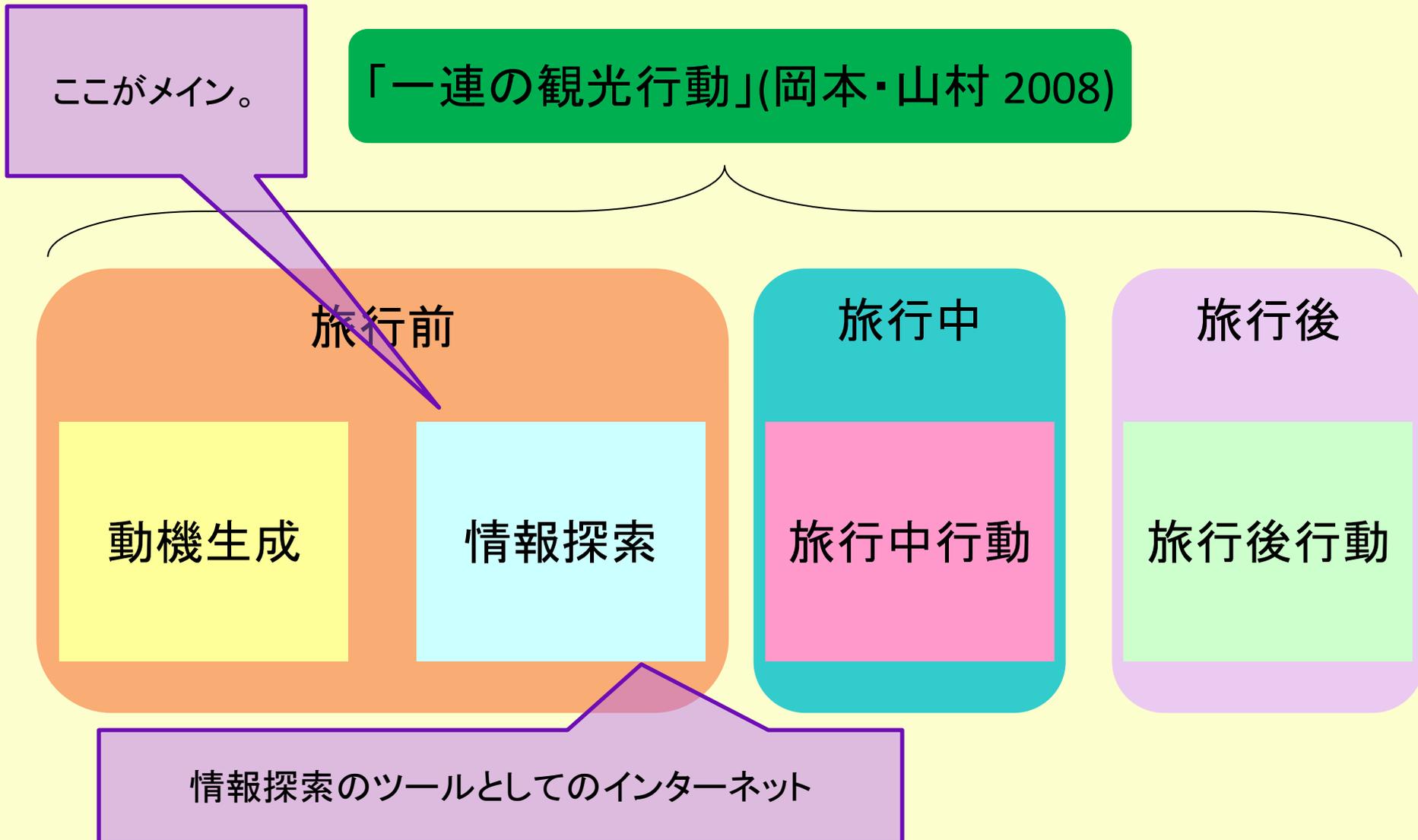


20代～40代の男性、20代の女性を「旅行情報化世代」



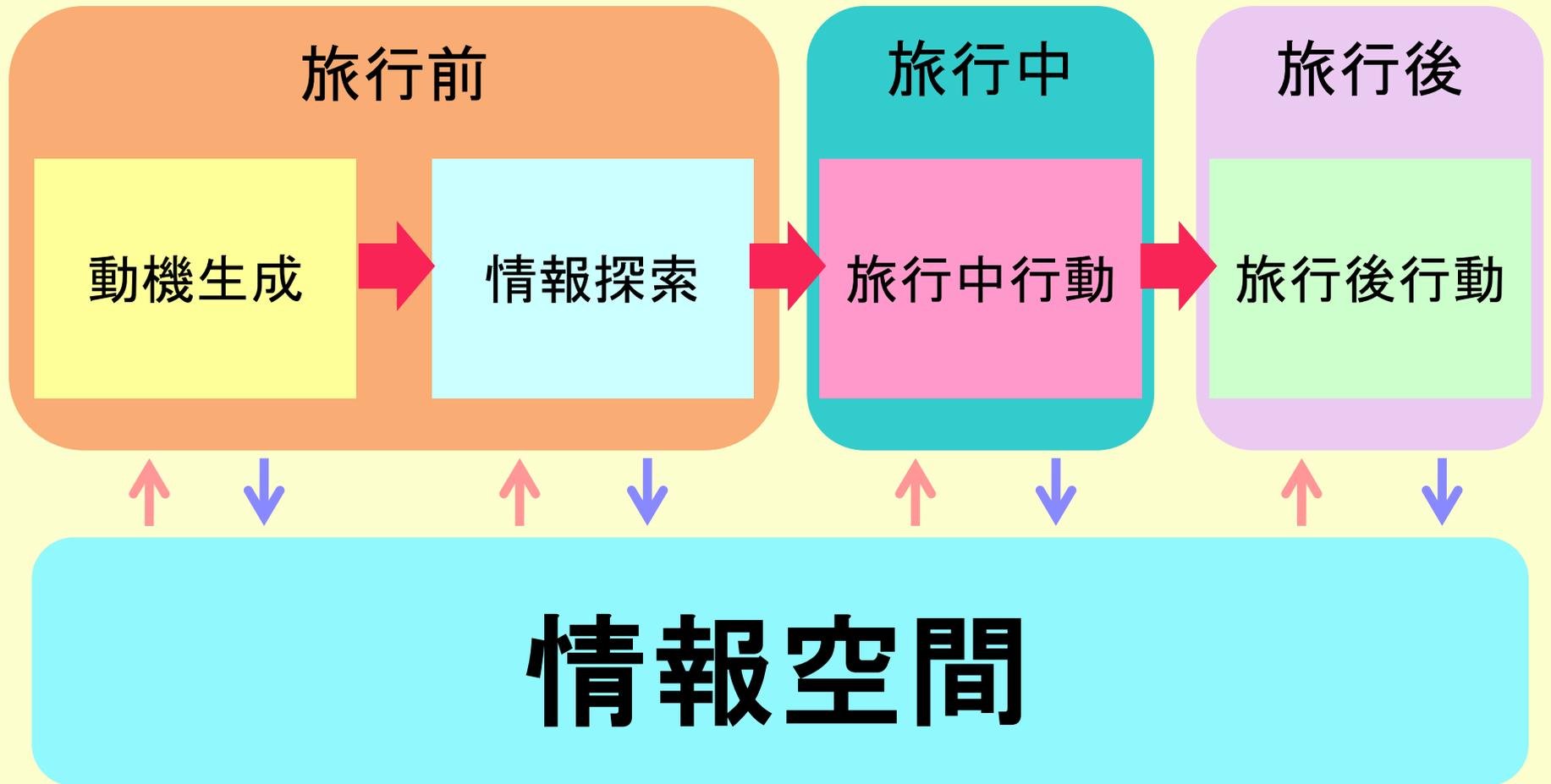
「旅行情報化世代」が拡大。女性の割合上昇は携帯電話からのネット利用増？

2. 情報社会における旅行行動研究



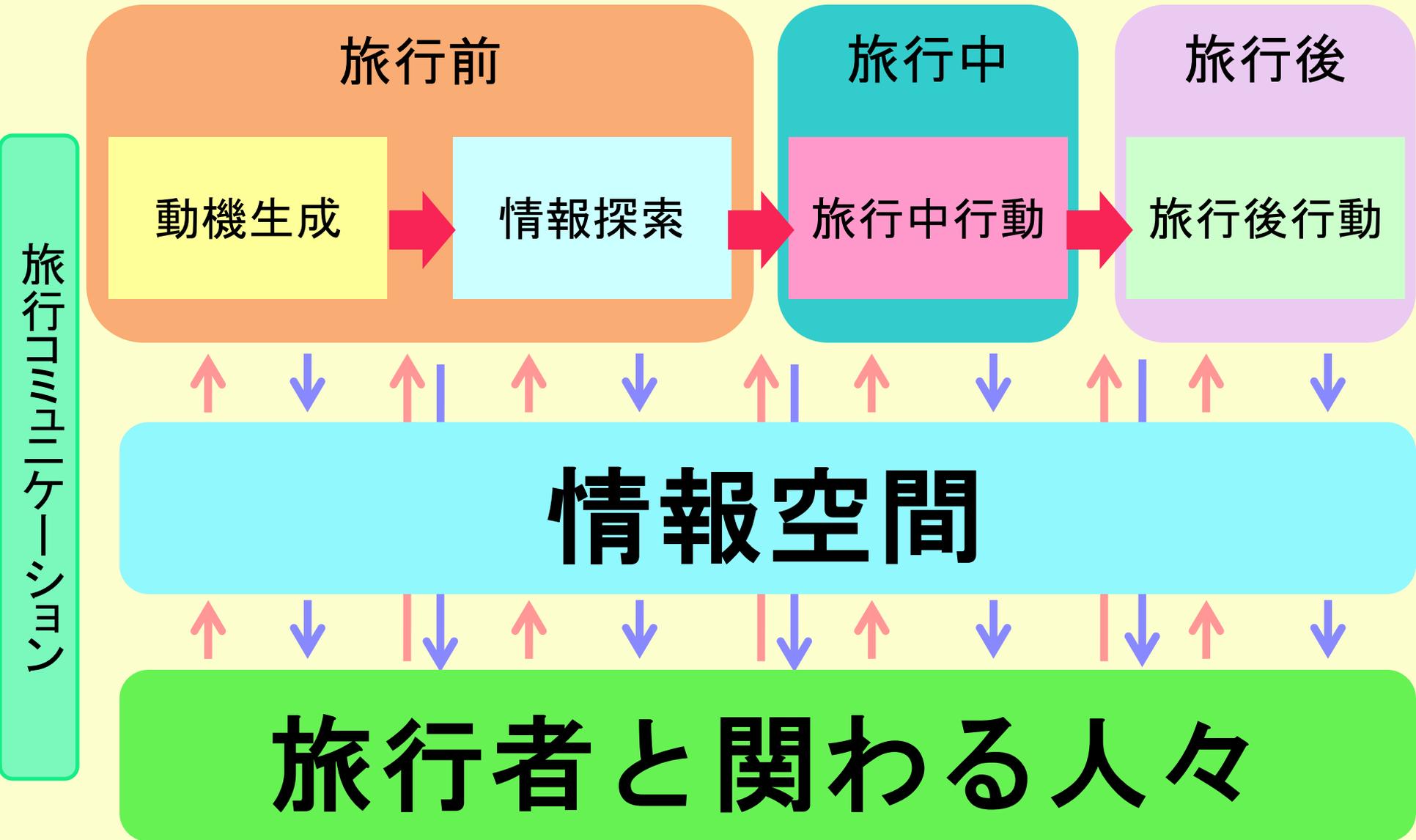
2. 情報社会における旅行行動研究

旅行行動と情報空間の関係を、情報収集の段階だけでなく、「一連の観光行動」全般にわたって、その関わり方を見ていく必要がある。



情報社会における旅行行動研究の見取り図

2. 情報社会における旅行行動研究



3. アニメ聖地巡礼の概要

旅行前の情報探索場面の、旅行者の動向のみではなく、

観光行動全般にわたって、

情報空間との関わりを考慮にいれ、

旅行者に関わる人々との関連性も

調べていくべき

その一例としての「アニメ聖地巡礼」

3. アニメ聖地巡礼の概要

新聞・雑誌記事を調べると・・・

①アニメ聖地巡礼者は、アニメで用いられた風景を撮影し、情報をホームページで発信する。

②アニメ聖地巡礼者は、ノートへの書き込みや絵馬など、地域に何か巡礼の記念物を残す

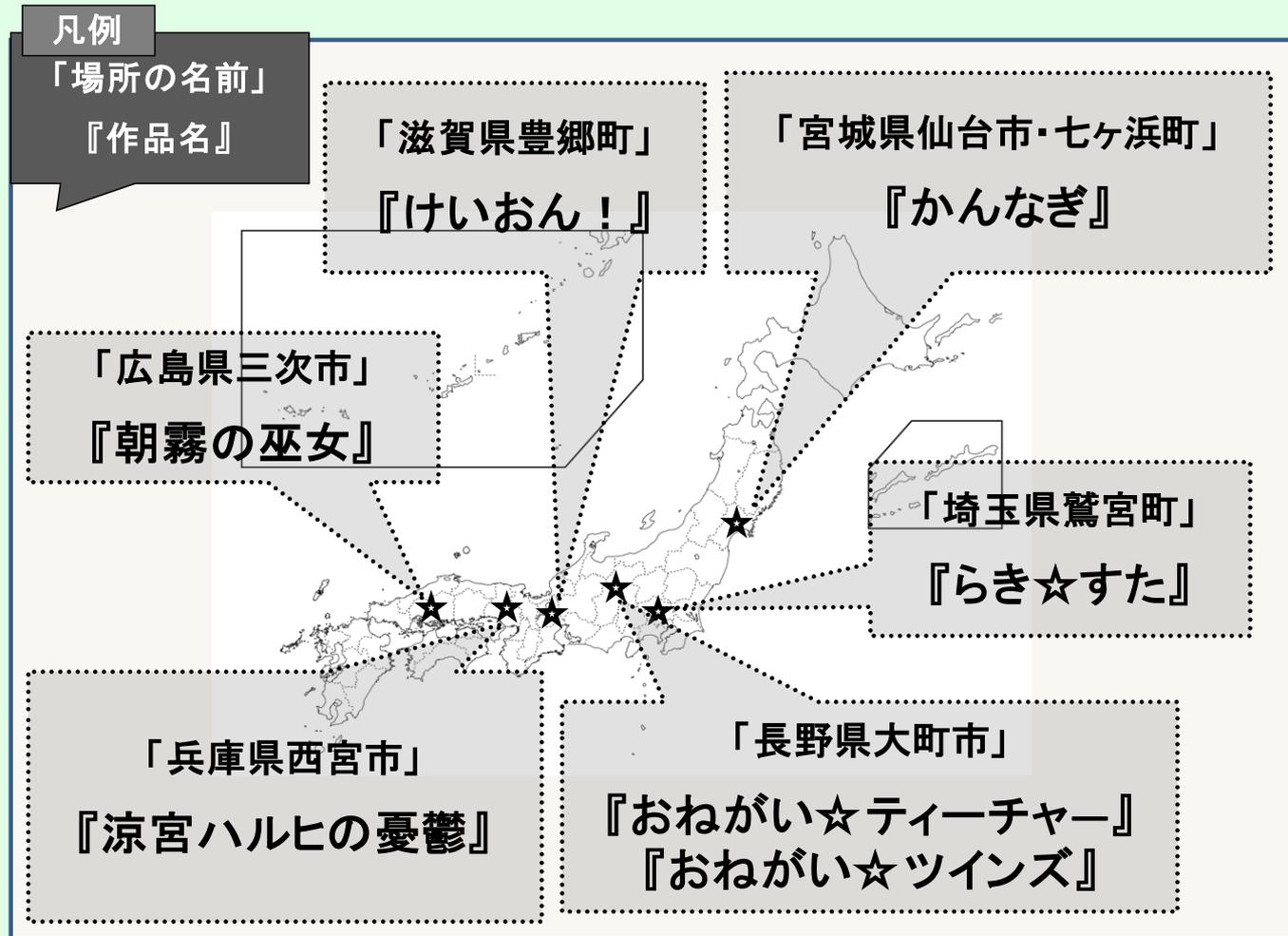
③旅行動機はアニメの舞台を訪ねることだが、現地の人やファン同士の交流を楽しむこともある。

④アニメ聖地巡礼者の中には、高頻度で聖地を訪れるリピーターがいる。また、遠方からも訪れる。

⑤アニメ聖地巡礼者には、20代、30代、40代男性が多い

3. アニメ聖地巡礼の概要

1990年代前半ごろから登場



日本全国のアニメ聖地(一部)

3. アニメ聖地巡礼の概要

埼玉県鷲宮町のアニメ聖地巡礼者の実態(2008年8月)

	8/7 (木)	8/8 (金)	8/9 (土)	8/10 (日)	合計
来訪者(人)	209	168	333	568	1278
参拝者(人)	182	131	250	386	949
入店者(人)	42	33	80	75	230
巡礼者(人)	20	10	41	34	105
巡礼者率 (%)	9.6	6.0	12.3	6.0	8.2

巡礼者は土日が多い

アニメ聖地巡礼者の人数と巡礼者率

巡礼者率は10%前後

3. アニメ聖地巡礼の概要

性別

男性	185 (87.3)
女性	19 (9.0)
回答無し	8 (3.8)

85%以上が男性

年齢

10-19 歳	54 (25.5)
20-29 歳	88 (41.5)
30-39 歳	42 (19.8)
40-49 歳	17 (8.0)
50-59 歳	2 (0.9)
60-69 歳	1 (0.5)
回答無し	8 (3.8)

10代~30代で
85%以上を占める

3. アニメ聖地巡礼の概要

鷺宮町への来訪回数

初めて	121(57.1)
2回目	21(9.9)
3回目	11(5.2)
4回以上	52(24.5)
地元住民	6(2.8)
回答無し	1(0.5)

関東以外が4割程度

リピーターは4割近く

居住地方

北海道	2(0.9)
東北	10(4.7)
北陸	1(0.5)
甲信越	8(3.8)
関東	144(58.0)
東海	22(10.4)
近畿	9(4.2)
中国	4(1.9)
四国	0(0.0)
九州	1(0.5)
沖縄	1(0.5)
海外(香港)	1(0.5)
回答無し	9(4.2)

3. アニメ聖地巡礼の概要

同行者

一人旅	65(30.7)
友人	113(53.3)
家族や親せき	28(13.2)
回答無し	6(2.8)

一人旅が多い

作品に出てくる場所が、立ち寄り場所として多いかという、そうとは限らない。

立ち寄り場所	人数	備考
鷺宮神社	198	☆
鷺宮神社前商店街	114	
鷺宮駅	105	
春日部駅	47	☆
ゲーマーズ秋葉原店	37	
大宮駅	34	
幸手市商店街	27	☆
幸手駅	24	
春日部共栄高校	22	☆
アニメイト大宮店	19	
東鷺宮駅	18	
権現堂堤	18	☆
アニメイト池袋本店	7	
その他	17	
無回答	1	

*備考欄に☆を付した場所は「らき☆すた」のオープニングの背景となっている場所

3. アニメ聖地巡礼の概要

交通手段 (行き)

電車	96(45.3)
自家用車	73(34.4)
その他 (自転車、自動二輪、徒歩などを 含む)	43(20.3)

交通手段は電車が多いが、
様々である。

旅行会社利用の有無

旅行会社を使っている人
は
ほとんどいない

利用有り	5(2.4)
利用無し	205(96.7)
回答無し	2(0.9)

3. アニメ聖地巡礼の概要

旅行日程

日帰り	153(72.2)
1泊以上	53(25.0)
地元住民	2(0.9)
回答無し	4(1.9)

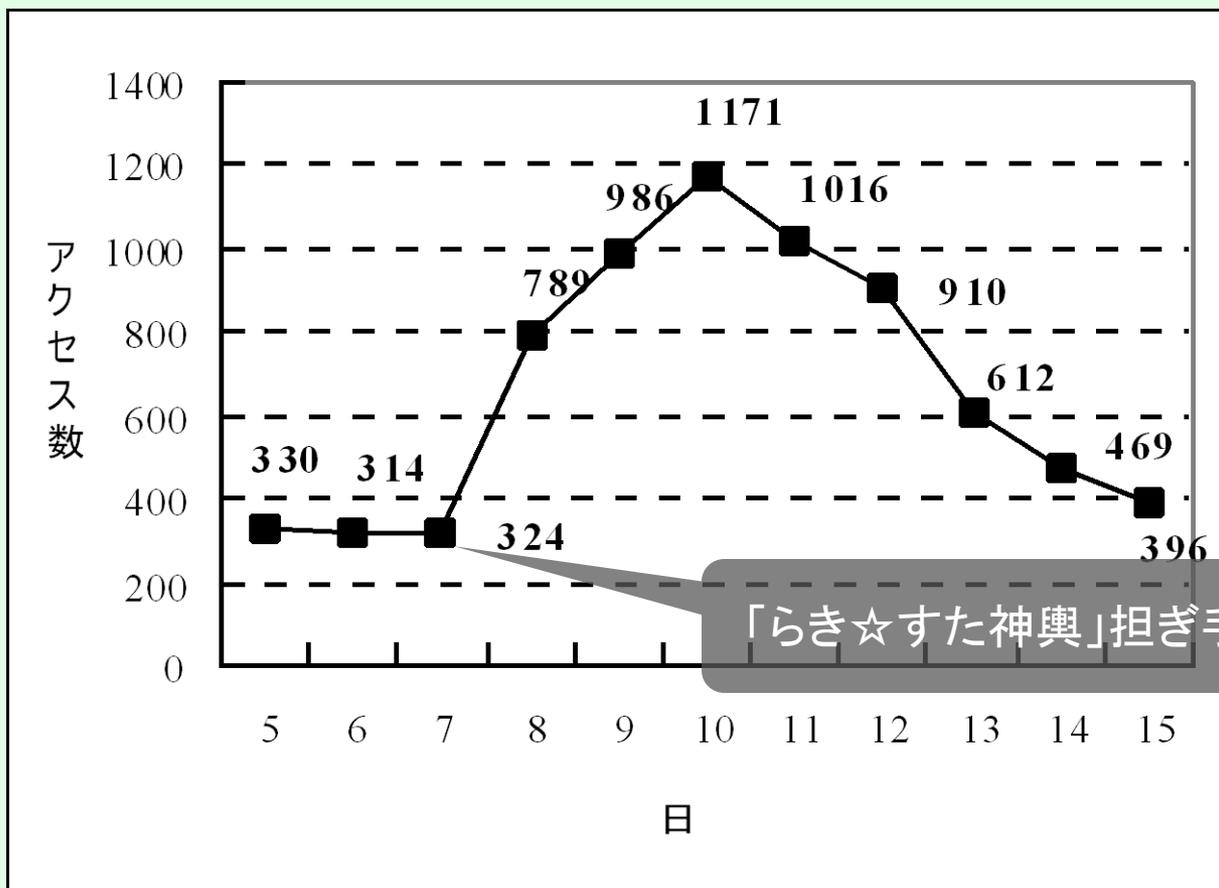
日帰りが7割を超えている

鷲宮町での滞在時間

3時間以内	93(43.9)
3～6時間	84(39.6)
6～24時間	17(8.0)
24時間以上	3(1.4)
回答無し	15(7.1)

3時間以上いる人が5割近く

3. アニメ聖地巡礼の概要



鷺宮町商工会HPのアクセス数推移
(2008年8月5日～8月15日まで)

4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿 ～発案から実施まで～

- ①2008年9月7日、鷺宮町の土師祭に、伝統的な「千貫神輿」とならんで、「らき☆すた神輿」が登場
- ②「らき☆すた」神輿をファンに担いでもらおうというアイデア
- ③これらを発案したのは、土師祭輿会の会長
- ④祭輿会長は自他ともに認める「神輿おたく」
- ⑤レイヤーに着替え場所提供。ストラップ販売店にもなる。そのため、ファンとの交流が盛ん



自身の趣味の神輿とアニメファンをつなげた発想

4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿 ～発案から実施まで～

らき☆すた神輿の担ぎ手は全国から募集。

2008年8月上旬に
鷺宮町商工会のホームページ、
および、
大酉茶屋前の看板で募集を開始。

3日間で全国から114名の申込み。

4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿 ～発案から実施まで～



祭輿会長製作の担ぎ手Tシャツ
を着た担ぎ手たち

4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿 ～発案から実施まで～



らき☆すた神輿

4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿 ～発案から実施まで～

らき☆すた神輿の周りで談笑する
ファンと祭輿会メンバー



4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿 ～発案から実施まで～



らき☆すた神輿の人だから

4. 鷺宮町の土師祭での「らき☆すた」神輿 ～発案から実施まで～

「千貫神輿」と「らき☆すた神輿」



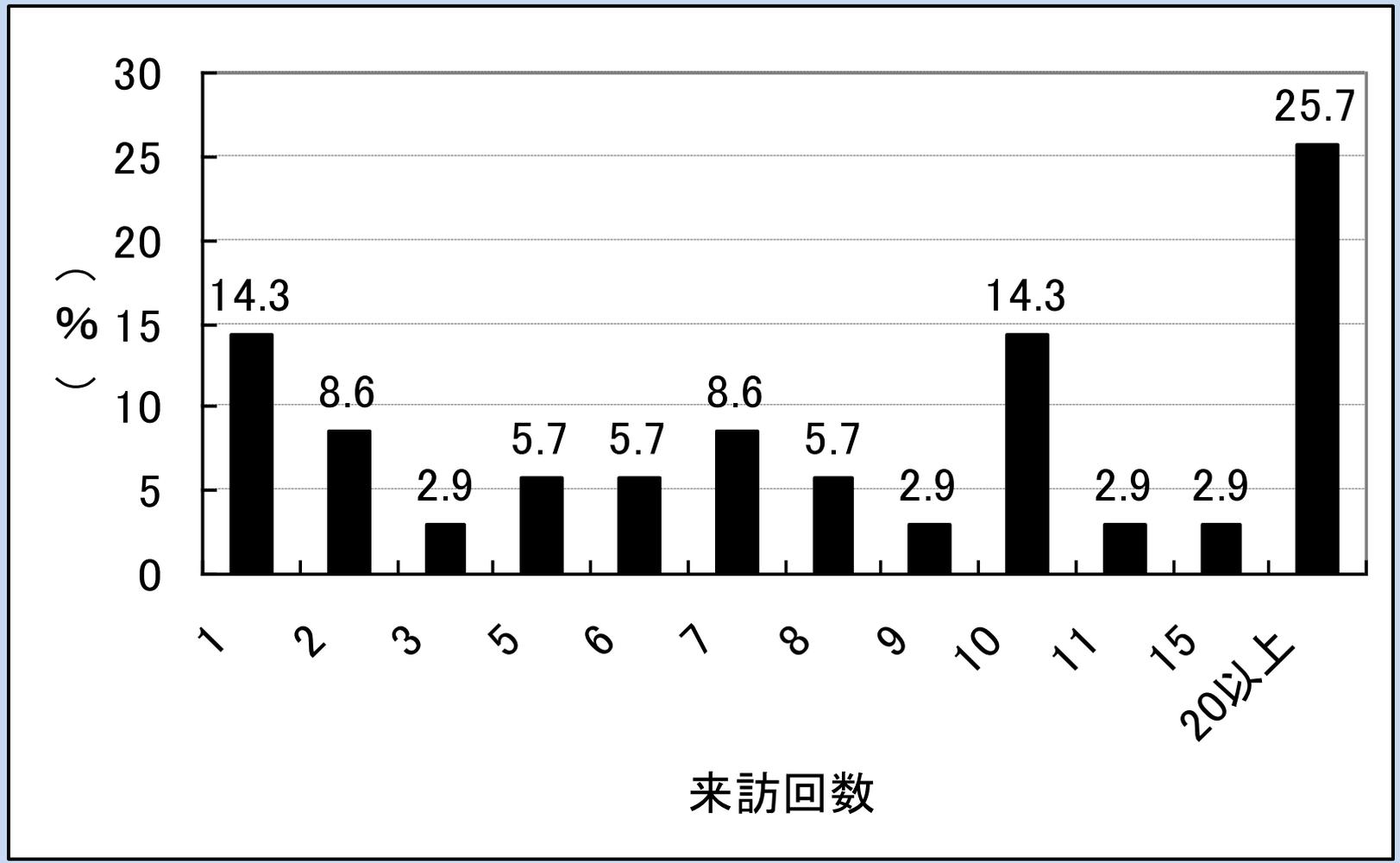
5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケートを実施

114人中35人から回答が得られた(回収率31%)

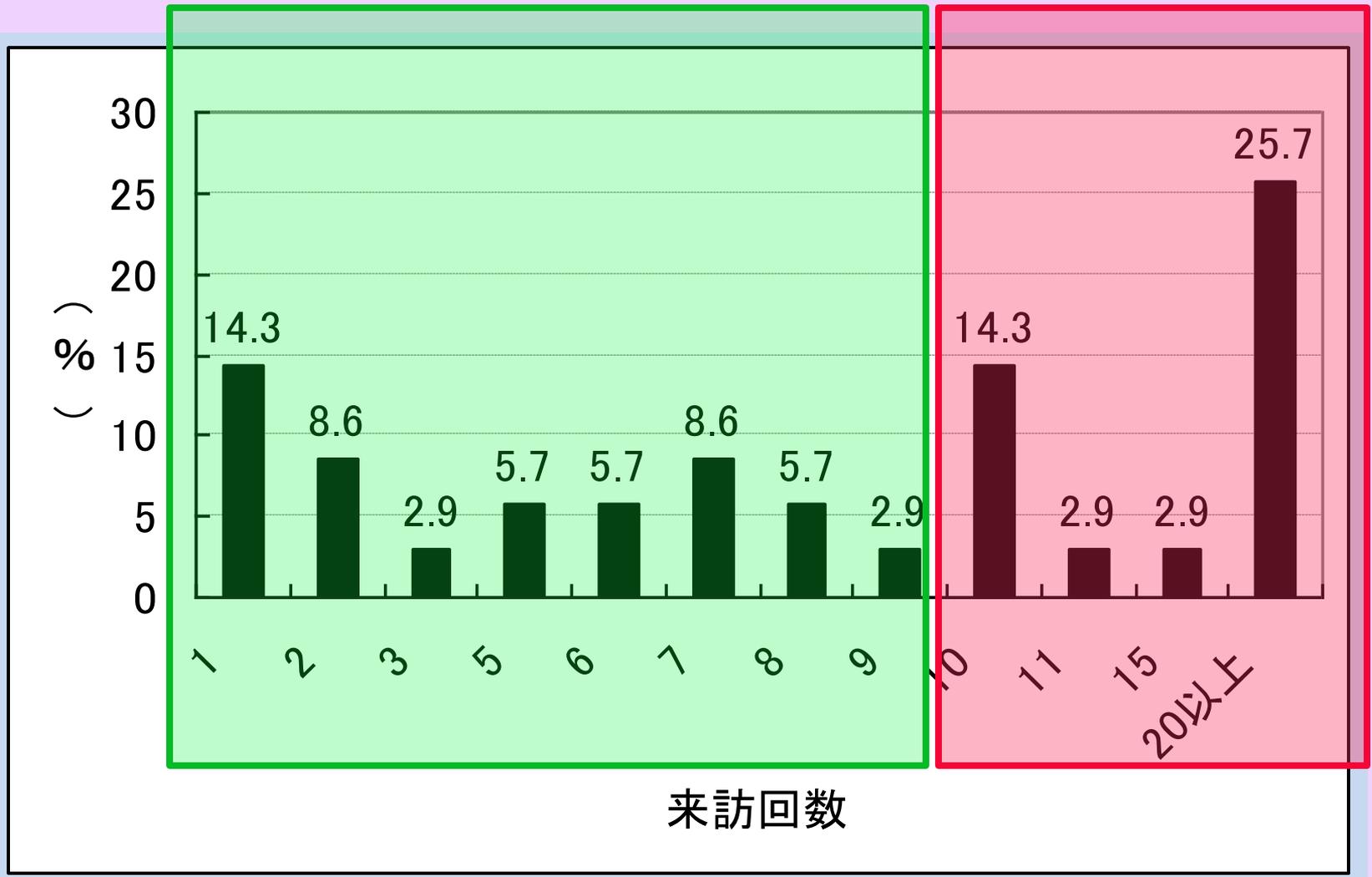
- ① 鷺宮町への来訪回数
- ② 担ぎ手募集の情報源
- ③ 再度参加したいかどうか
- ④ 土師祭全体で、楽しかったことや、
嬉しく思ったこと、印象的だったこと
- ⑤ 土師祭全体で、嫌な思いをしたことや
改善したほうが良いと思ったこと
- ⑥ 意見や感想

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果



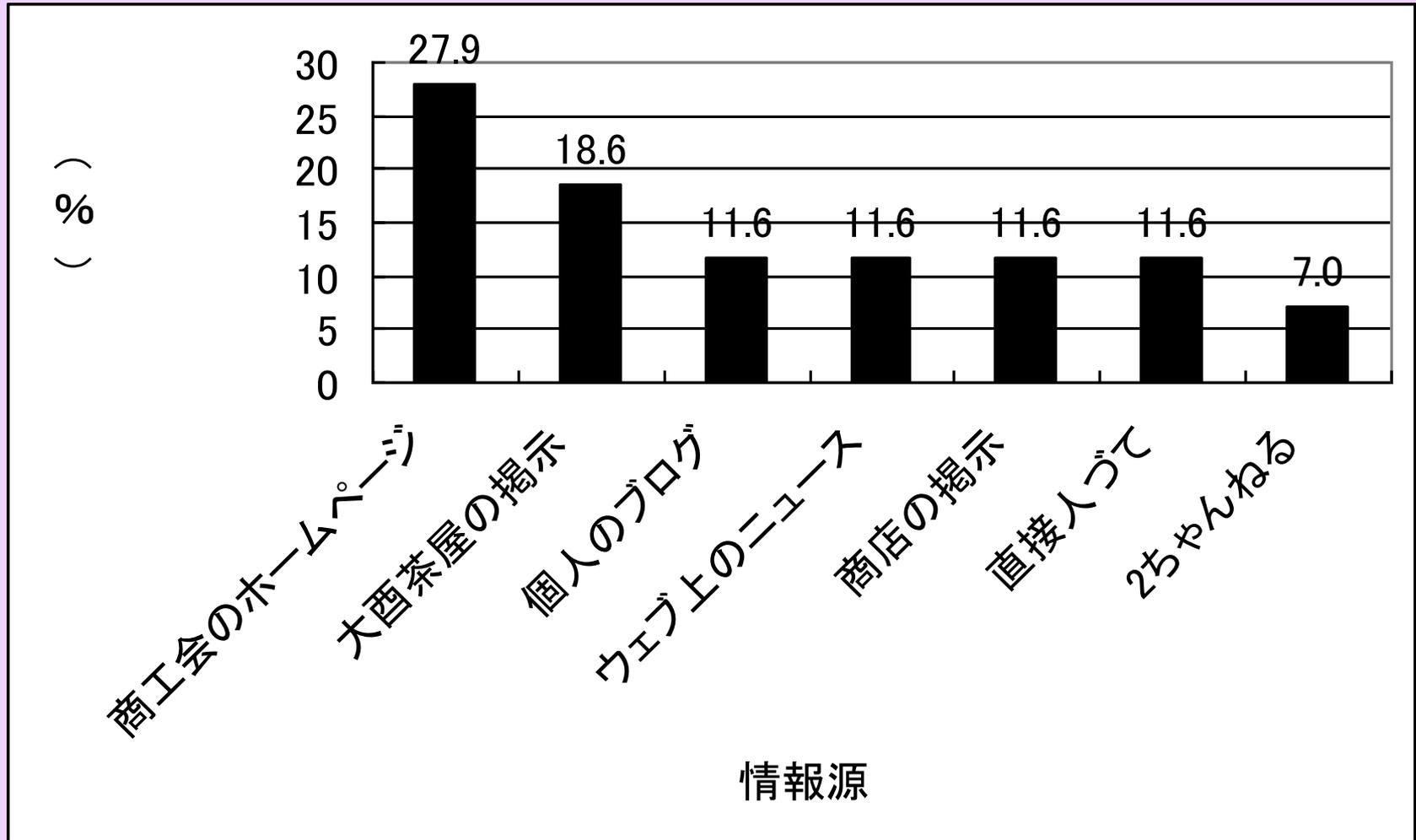
鷺宮町への来訪回数

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果



鷺宮町への来訪回数

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

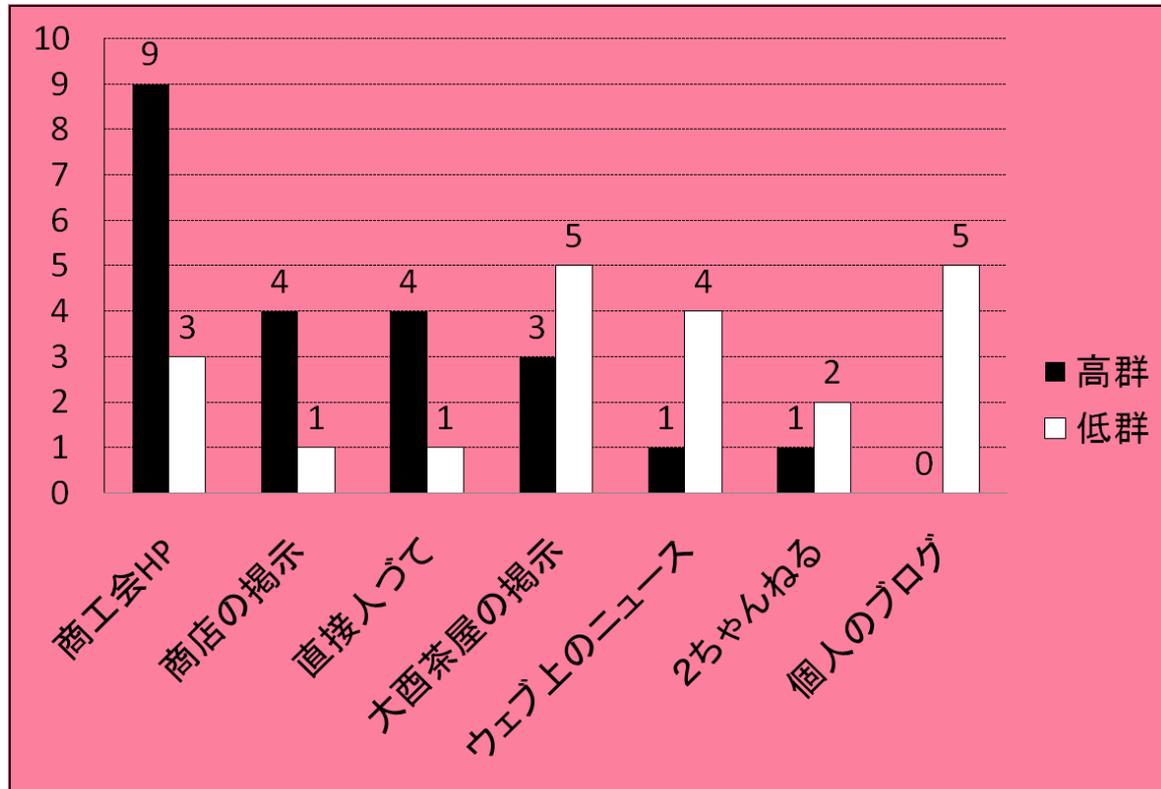


担ぎ手募集の情報源

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

鷺宮町への来訪回数高群と低群での情報源の比較（左）

	高群	低群
商工会HP	9	3
商店の掲示	4	1
直接人づて	4	1
大酉茶屋の掲示	3	5
ウェブ上のニュース	1	4
2ちゃんねる	1	2
個人のブログ	0	5
合計	22	21



情報源別の来訪回数高群と低群の比較

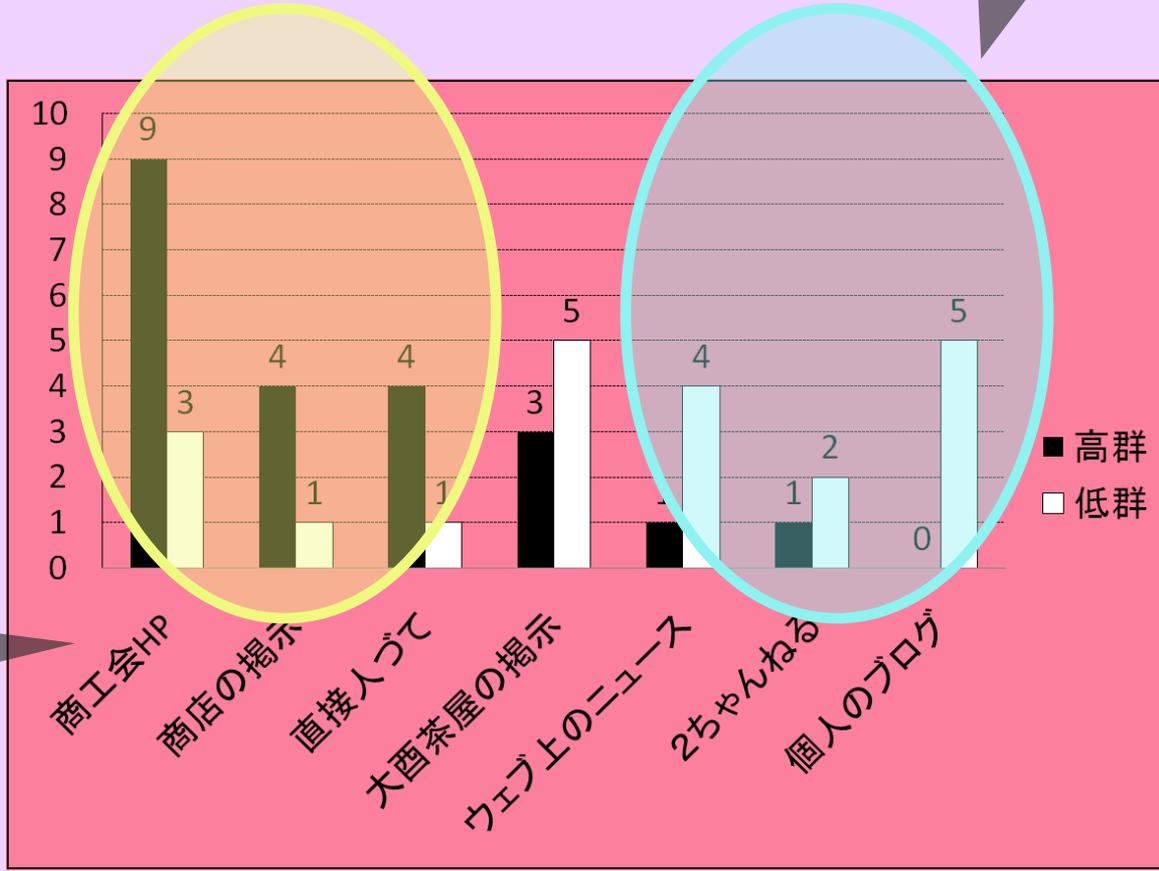
5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

間接的な情報

鷺宮町への来訪回数高群と低群での情報源の比較（左）

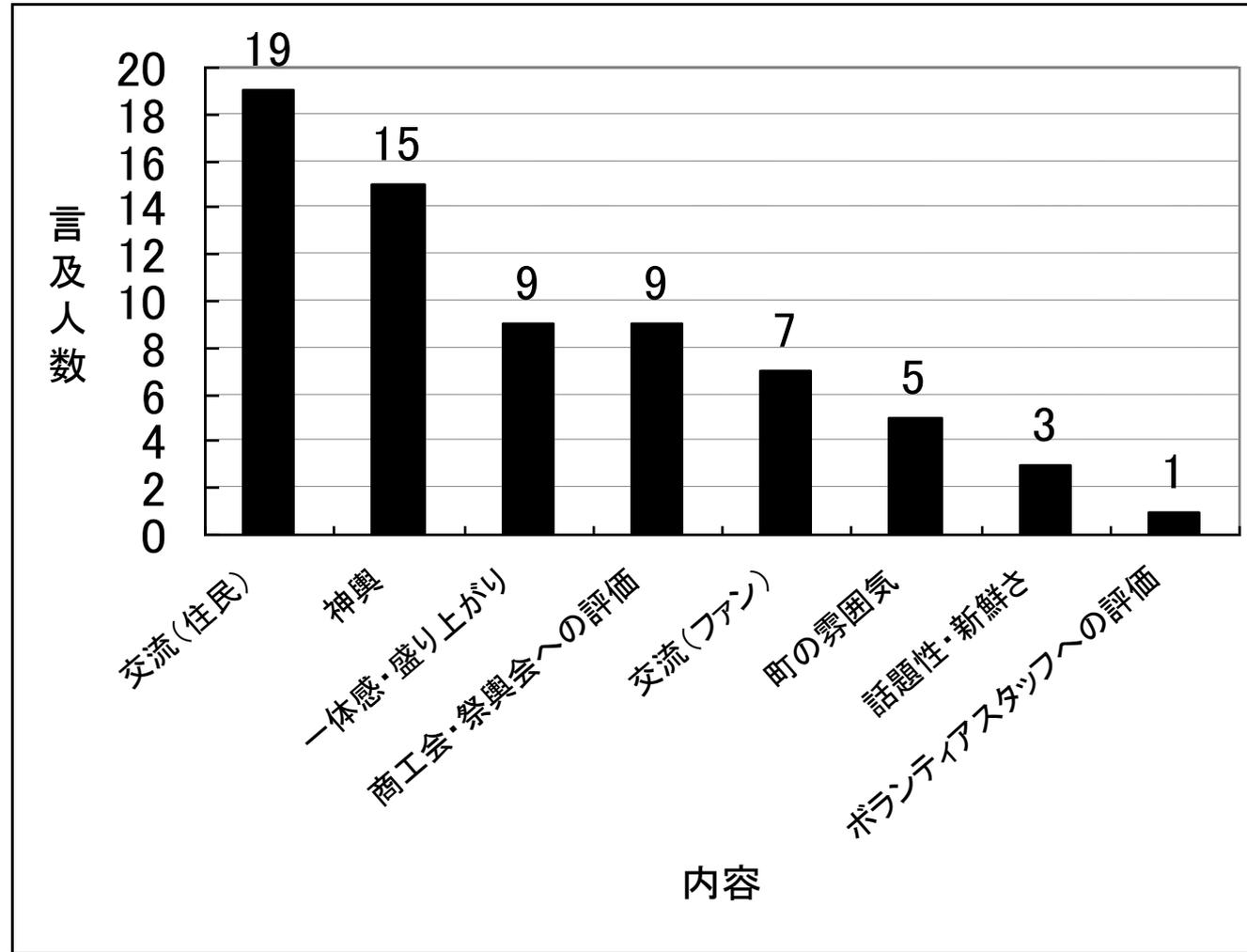
	高群	低群
商工会HP	9	3
商店の掲示	4	1
直接人づて	4	1
大酉茶屋の掲示	3	5
ウェブ上のニュース	1	4
2ちゃんねる	1	2
個人のブログ	0	5
合計	22	21

地域側からの直接的な情報発信



情報源別の来訪回数高群と低群の比較

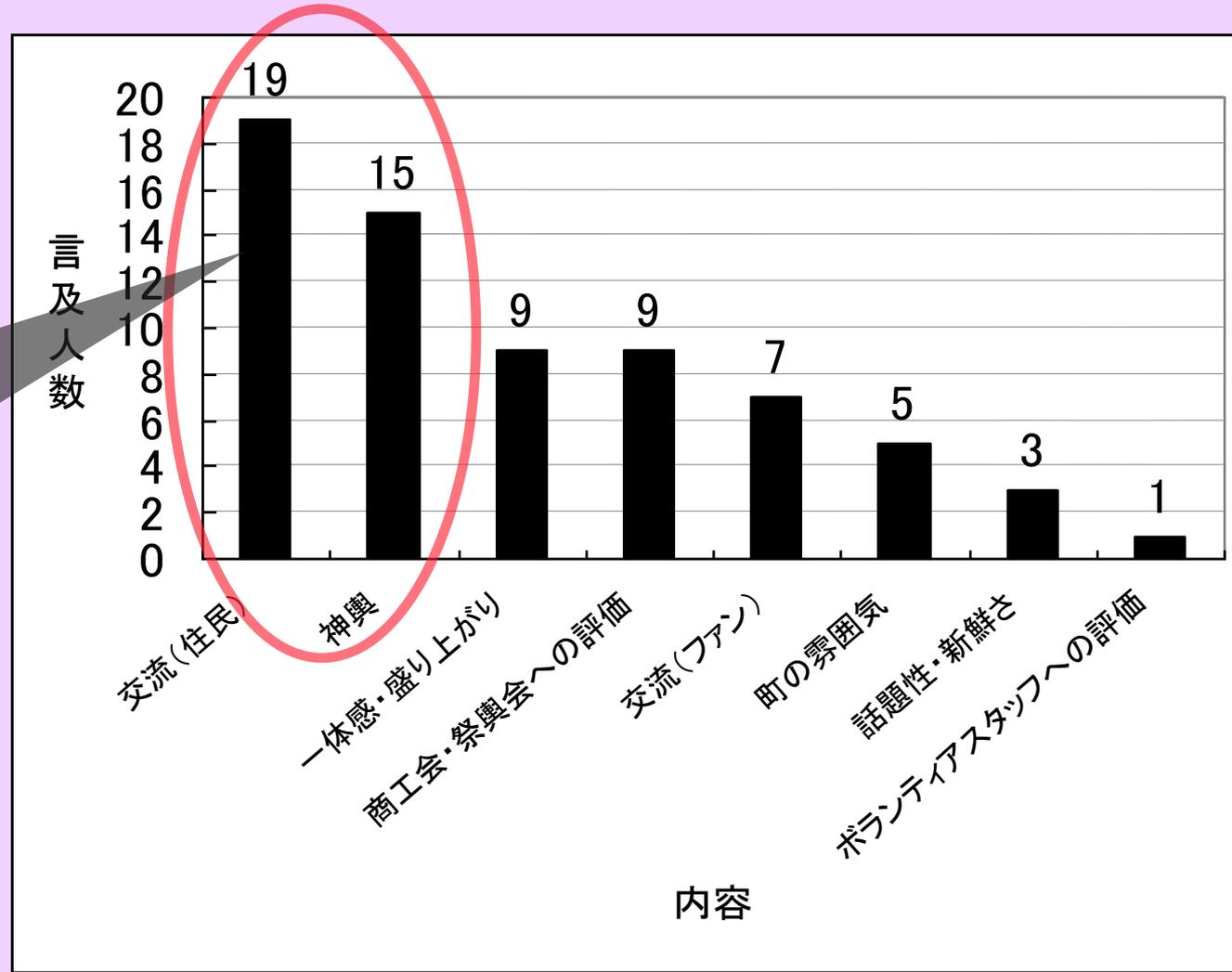
5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果



土師祭の感想（良かった点）

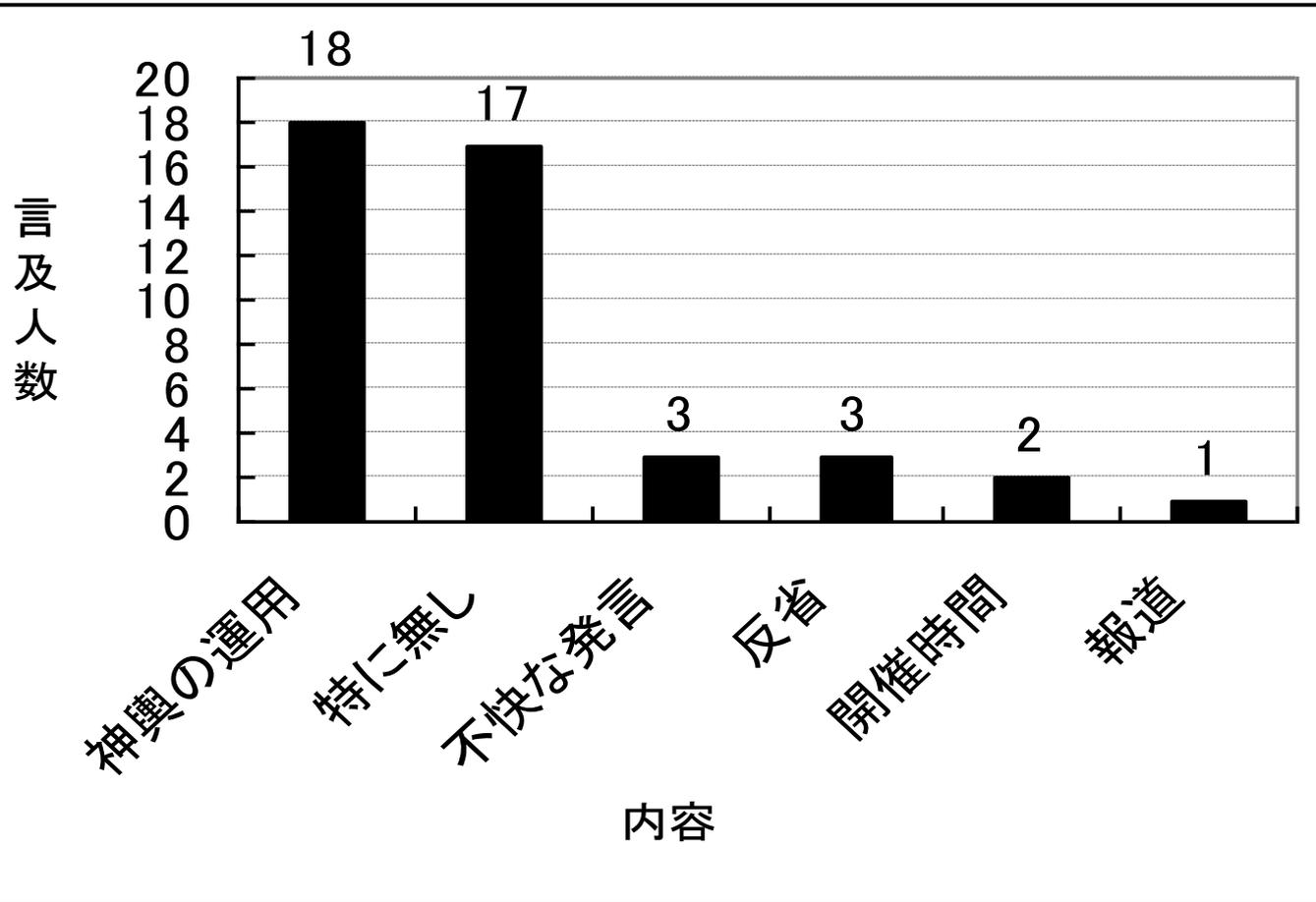
5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

住民との交流
に良い評価。



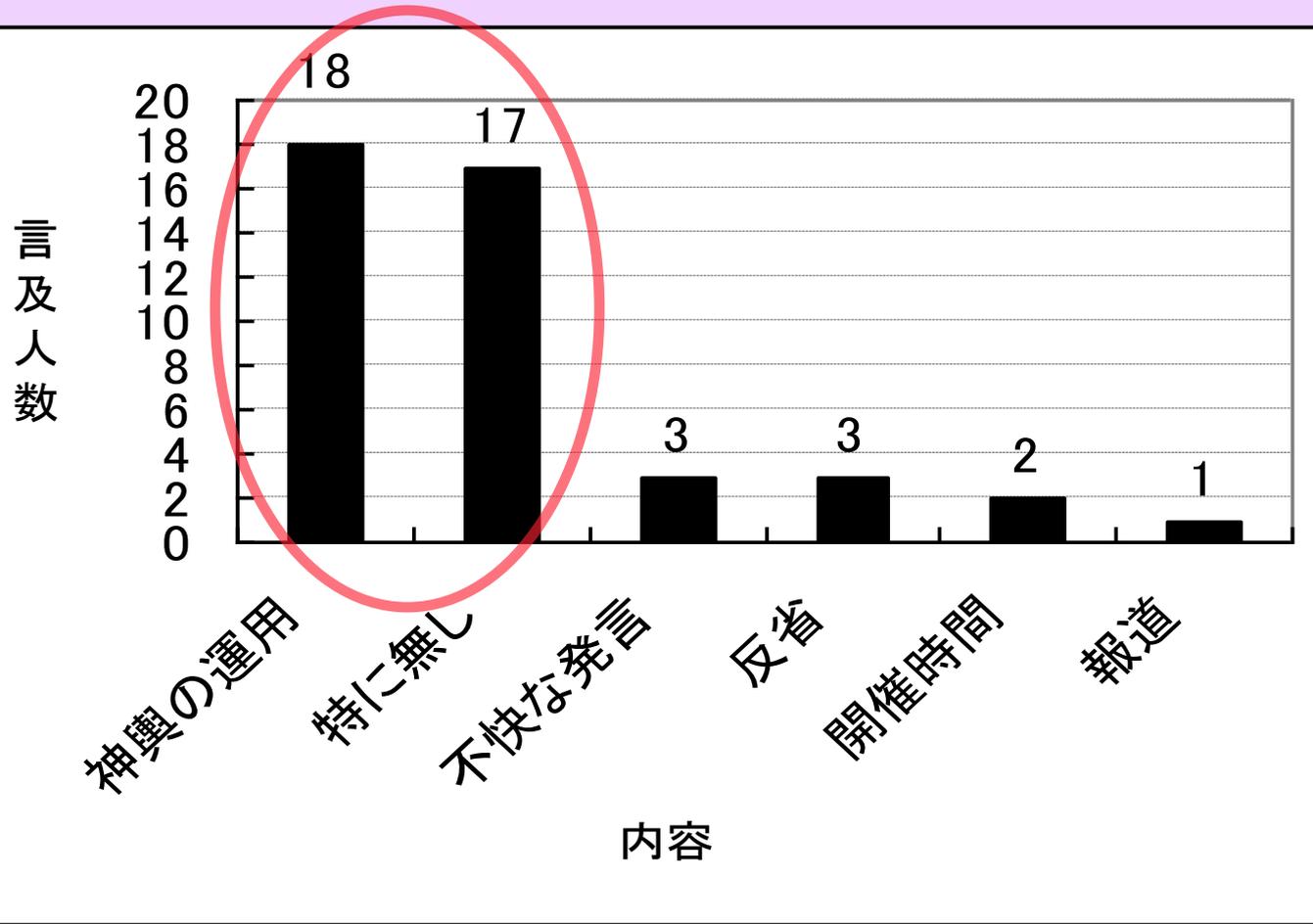
土師祭の感想（良かった点）

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果



土師祭の感想（悪かった点）

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果



土師祭の感想（悪かった点）

神輿の運用に関する点での言及が多い。
ただ不満を書くだけでなく、
具体的に改善案を出しているものも多い。

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

意見や感想については、配布資料の16ページをご覧ください。

担ぎ手の意見や感想から、
担ぎ手が
「地域の人々との関わりや交流」、
「地域側の姿勢」などについて
高い評価をしていることがわかる。



担ぎ手の中には、町に対して良い印象を持つのみでなく、
主体的に町の今後の展開を考えるに至っている人も。

5. 「らき☆すた」神輿担ぎ手アンケート結果

- ・地元住民からのアニメ神輿の発案
- ・そのアイデアはファンとのコミュニケーションから
- ・制作過程、企画段階からファンが参加

→ファン側に「地域側が金儲けのためにやっている」
という認識が生まれにくい

→地域側に「アニメファンが価値観を押し付けてきた」
という認識が生まれにくい

6. 情報化時代の旅行コミュニケーション ～つながるはずのなかった人たちのつながり～

様々なつながりが生まれている。

特に、

商工会職員とアニメファン、
祭典会長と遠来からのアニメファンなど、
普通ならつながるはずのない人々がつながっている。

6. 情報化時代の旅行コミュニケーション ～つながるはずのなかった人たちのつながり～

それだけでなく、
鷺宮町の今後の在り方などを主体的に考えるファン
実際にボランティアスタッフになるファンも。



このような現象が起こったのは何故か？

6. 情報化時代の旅行コミュニケーション ～つながるはずのなかった人たちのつながり～

鷺宮町の以下の点が
評価されている

「旅行者の価値観を認めていることを表明」



インターネットが果たす役割大

「対面接触場面でのコミュニケーション」

6. 情報化時代の旅行コミュニケーション ～つながるはずのなかった人たちのつながり～

まとめ

情報通信機器が普及し、
人々はそれらを活用して旅行をするようになっている。

居住地域でのつながりの希薄化が言われているが、
鷺宮町のように、異なるつながりが生まれることもある。

以前であればつながる可能性の少なかった人々がつながり、

そのつながりを中心に
新たなコミュニティの形が立ち現われ、
地域社会を支えていくのかもしれない

アニメ聖地巡礼研究関連文献①

- **メディアコンテンツとツーリズム：鷲宮町の経験から考える文化創造型交流の可能性**（CATS叢書：観光学高等研究センター紀要；第1号）
<http://hdl.handle.net/2115/38119>
- **岡本健(2009)「アニメ聖地巡礼の誕生と展開」**、『CATS叢書 メディアコンテンツとツーリズム』，1号，pp. 31-62.
<http://hdl.handle.net/2115/38112>
- **岡本健(2009)「「らき☆すた」に見るアニメ聖地巡礼による交流型まちづくりー埼玉県鷲宮町」**、『観光の地域ブランディング』，学芸出版社，pp. 70-80. ≪書籍≫
- **岡本健(2009)「らき☆すた聖地「鷲宮」巡礼と情報化社会」**，『観光の空間』，ナカニシヤ出版，pp. 133-144. ≪書籍≫
- **岡本健(2009)「来訪者の回遊行動を誘発する要因とその効果に関する研究 ～埼玉県北葛飾郡鷲宮町における「飲食店スタンプラリー」を事例として」**，『日本建築学会二〇〇九年度大会（東北）学術講演梗概集F-1 都市計画 建築社会システム』，pp. 219-220. ★
<http://hdl.handle.net/2115/39123>
- **岡本健・釜石直裕・松尾友貴(2009)「旅行者の観光資源に対する認識の変化に関する研究～豊郷小学校旧校舎群における来訪者の認識変化について～」**，『第24回日本観光研究学会 全国大会学術論文集』，pp. 221-224. ★
<http://hdl.handle.net/2115/39931>

アニメ聖地巡礼研究関連文献②

- 岡本健(2009)「情報社会における旅行行動の特徴に関する研究：アニメ聖地巡礼と大河ドラマ観光の比較・検討を通して」, 『観光情報学会第1回研究発表会講演論文集』, pp. 45-52.
<http://hdl.handle.net/2115/40101>
- 岡本健(2009)「情報社会における旅行者と地域住民の関係構築のあり方に関する研究：埼玉県鷲宮町で見られるアニメ聖地巡礼行動を事例として」, 『日本地域学会第46回(2009年)年次大会学術発表論文集』(CD-ROM)
<http://hdl.handle.net/2115/39592>
- 岡本健(2009)「アニメ聖地巡礼行動における旅行者の情報環境に関する研究」, 『概要集 第6回観光情報学会全国大会 in 加賀市 観光と地域再生』, p. 11
<http://hdl.handle.net/2115/38537>
- 岡本健(2009)「情報化社会における自律的観光のあり方に関する研究：アニメ聖地巡礼者の旅行行動の特質とその課題」『北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 観光創造専攻 修士論文』99p
<http://hdl.handle.net/2115/38233>
- 岡本健(2009)「情報文化としてのアニメ聖地巡礼」, 『情報文化学会講演予稿集』, pp. 95-98.
<http://hdl.handle.net/2115/39930>
- 岡本健(2009)「情報化社会における旅行者行動の特徴と地域に果たす役割：アニメ聖地鷲宮町の事例から観光資源の協働型管理の可能性を考える」, 『第14回観光と社会・文化の研究会配布資料』, 13p
<http://hdl.handle.net/2115/38654>

アニメ聖地巡礼研究関連文献③

- 岡本健(2009)「情報化が旅行者行動に与える影響に関する研究：アニメ聖地巡礼行動の事例分析から」, 『2009年日本社会情報学会 (JSIS & JASI) 合同研究大会 研究発表論文集』, pp. 364-367.
<http://hdl.handle.net/2115/39287>
- 岡本健(2009)「アニメを動機とした旅行行動の実態に関する研究～アニメ聖地巡礼研究および調査の整理を通して～」, 『観光・余暇関係諸学会共同大会学術論文集』, pp. 43-50
<http://hdl.handle.net/2115/39365>
- 岡本健(2009)「観光旅行者のホスピタリティ認知計測に関する研究～アニメ聖地巡礼ノートの実態分析から～」, 『日本ホスピタリティ・マネジメント学会第18回全国大会研究発表要旨集』, pp. 22-23
<http://hdl.handle.net/2115/39335>
- 岡本健(2009)「観光情報革命時代のツーリズム (その4) ～「旅行情報化世代」～」, 『北海道大学文化資源マネジメント論集』, 6号, 16p
<http://hdl.handle.net/2115/35334>
- 岡本健(2008)「アニメ聖地における巡礼者の動向把握方法の検討：聖地巡礼ノート分析の有効性と課題について」, 『観光創造研究』, 2号, 13p
<http://hdl.handle.net/2115/34672>

アニメ聖地巡礼研究関連文献④

- 石森秀三・山村高淑(2009)「情報社会における観光革命：文明史的に見た観光のグローバルトレンド」, 『JACIC情報』, 24巻, 2号, pp. 5-17.
<http://hdl.handle.net/2115/39125>
- 山村高淑(2009)「観光情報革命が変える日本のまちづくり：インターネット時代の若者の旅文化と新たなコミュニティの可能性」, 『季刊まちづくり』, 22号, pp. 46-51.
- 山村高淑(2009)「観光情報革命と文化創出型観光の可能性—アニメ聖地巡礼に見る次世代ツーリズムの萌芽」, 『地域開発』, 533号, pp. 32-36.
<http://hdl.handle.net/2115/38769>
- 山村高淑(2009)「観光革命と21世紀：アニメ聖地巡礼型まちづくりに見るツーリズムの現代的意義と可能性」, 『CATS叢書』, 1号, pp. 3-28.
<http://hdl.handle.net/2115/38111>
- 山村高淑(2008)「アニメ聖地の成立とその展開に関する研究～アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県鷲宮町の旅客誘致に関する一考察～」, 『北海道大学国際広報メディア・観光学ジャーナル』, 7号, pp. 145-164.
<http://hdl.handle.net/2115/35084>

アニメ聖地巡礼研究関連文献⑤

その他、「鷺ペディア☆washipedia」で関連文献を整理してあります。

【URL】 <http://www.cats.hokudai.ac.jp/~deko/washipedia.html>

また、北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）にて、検索で、「アニメ聖地」とご検索いただければ、様々な論考をダウンロードしてご覧いただけます。



ご清聴有難うございました。